

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	地域行事、防災訓練への参加を通じて少しずつ地域の方との関わりは増えているが、ボランティアの受け入れシステムの構築や水害・震災に対する備えは十分とは言えない。	訓練や行事を通して地域の方との交流を深めていく。	①推進会議を通して地域の状況を把握しながら地域行事へ参加する機会を増やしていく。 ②買い物や催し物等の見学を通してその方の”ハレの日”の演出を行う。 ③ボランティアの受け入れの実施。(踊り・歌・外出支援) ④災害マニュアルの整備。(火災・水害・地震) ⑤推進委員の方と訓練の実施。(地震)	12ヶ月
2	26	センター方式を活用しながら本人や家族の思いを汲み取るよう心掛けたが、チームとしての関わり方ができていないように感じる。	センター方式を活用しながら、本人・家族の思いを汲み取り、チームとしての関わりが持てるよう、各自スキルアップを図る。	①センター方式(C-1-2)を全員で記入し、本人や家族の思いを汲み取る。 ②家族を招いてのカンファレンスの実施。 ③「チームケアとは何か。」「理念に添ったケアができていないか。」定期的に確認をする。 ④センター方式や観察の視点などの学習会の実施。 ⑤職員との定期的な面談の実施。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。